

平成29年12月教育委員会定例会会議録

平成29年12月25日 開催

静岡市教育委員会

平成29年12月静岡市教育委員会定例会次第

1 日時

平成29年12月25日（月） 午後1時30分

2 場所

静岡市役所 清水庁舎 3階 第1会議室

3 日程

(1) 開会

(2) 会議録署名人の指定

(3) 教育長の報告

(4) 報告

報告第14号 静岡型小中一貫教育カリキュラム【解説】の策定について

(5) その他

その他① 静岡市指定文化財の解除について

(6) 閉会

平成 29 年 12 月教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成 29 年 12 月 25 日 (月) 午後 1 時 30 分 開会
- 2 場 所 静岡市役所 清水庁舎 3 階 第 1 会議室
- 3 出席者 教育委員 教育長 池谷 眞樹 委 員 橋本ひろ子
委 員 伊藤嘉奈子 委 員 佐野 嘉則
委 員 杉山 節雄 委 員 松村 龍夫

教育委員会事務局

教育局長	望月 久
教育統括監	望月 敬剛
参与兼教育総務課長	秋山 健
教育総務課教育力向上政策担当課長	岡山 卓史
教職員課長	寺部 晃
教職員課厚生・給与担当課長	鈴木 寿享
教育施設課	村上 徹真
学校教育課長	川島 広己
学校教育課特別支援教育センター担当課長	鈴木 崇正
学事課長	坂井 義則
参与兼教育センター所長	瀧浪 泰
中央図書館長	堀川 仁
文化財課長	岡村 涉
教育総務課課長補佐兼総務係長	宮城島清也
教育総務課主査	澤野 倫世

4 日 程

(1) 開会

池谷教育長 ただいまから平成29年12月教育委員会定例会を開会いたします。

(2) 会議録署名人の指定

池谷教育長 本日の会議に関する会議録署名人を橋本委員に指定

(3) 教育長の報告

池谷教育長 資料「12月定例会 教育長報告」により報告
ここで、ただいま報告いたしました中で、11月8日以降、昨日12月19日までの間、学校視察や移動教育委員会等を行いました。委員の皆さまから、ご参加いただいた感想などを伺いたいと思います。

橋本委員 資料にありますように、私は6か所行かせていただきました。その中から3つほど、特に印象に残ったところをご紹介します。

1つ目は、11月30日の城内中学校の小中一貫教育。小学生の一日体験入学でした。二つの学校からひとクラスずつ、城内中学校に来ていたんですが、驚いたのが、中学校の担当の先生が、よく小学校へ足を運んでいるんだなということ。小学校の子どもたちが先生の名前を知っていて、手を振りあっているような姿を見ますと、こんなふうに先生がよく顔を出してくれているだけでも、子どもたちの安心感が違うんだなと強く感じたところでした。

それから、12月5日の新通小学校の計画訪問に同行させていただきました。新通小学校は非常に子どもの数が減っていて、苦労しているということを切々と訴えられました。通りを一本隔てると、今とても大きくなっている葵小学校。反対側はまた大きくなっている一番町小学校があります。向こうは増えて増えて仕方がなくなっているんだけど、その通りを一本変えるだけでも随分と子どもの数が適正化になるんだよ、というお話を伺ったときに、適正規模の推進というものは、課題も多いんですけど、やはり進めていかないといけないなと感じたところでした。

最後に、12月6日の蒲原西小学校ですが、こちらは静岡学を先行実践してくださっているような印象を持ちました。特に印象に残っているのは、小学生が修学旅行に行った時に、上野公園で、見ず知らずの旅行者を捕まえて、「僕たちは蒲原宿から来まし

た。」と、一煎のお茶と桜えびをお渡ししながら、蒲原をPRしてくるというようなことをしているそうで、もらった方々がその活動に感激して、お手紙を返してくれたり、メールを返してくれたりということで、非常に子どもたちにとって、やってよかったなという活動になっているのかなと思いました。

このように、静岡学の素地というのは、どこの学校にもあるんじゃないのかなということを感じました。その掘り起こしをしていくことが、無理なく静岡学を進めていくことになるんじゃないのかなと思ったところです。

佐野委員

それでは報告させていただきます。

私は清水飯田小学校と清水第一中学校に伺いました。小学校と中学校の違いはありますが、やはり地域性がかなり違うところでした。

清水第一中学校に関しまして詳しく紹介させていただきますと、稲垣校長先生にご案内いただいて、いろいろとお話を伺う中で、清水第一中学校は、清水江尻小と清水辻小から子どもが来ており、清水江尻小はコミュニティ・スクールをやっているということで、地域とか保護者が見守る力というのが、非常に子どもの成長、心を安定させるといいますかね、そういった感じで、大人びた子どもたちというか、授業をすごく真剣に聞いている様子が印象的でした。ですので、すごく子ども同士が助け合う姿が見られると、校長先生からもお話を聞いたりしたんですけど、親子三代で住んでいるお宅が多いそうなんです。おじいちゃん、おばあちゃん、親と。そういった環境での縦のつながりも非常に深い地域で、それが、子どもの成長に非常に役立っているのかなと思いました。おそらく、コミュニティ・スクールの研究校であった頃に高学年だった子が、いま清水第一中学校にいてという気がしているんですが、少なからずその成果が現れてきているのかなという感想を持ちました。

松村委員

新通小学校については、橋本委員と同じ感想です。ただ、学区の再編制って上手くいかないのという質問を校長先生に投げかけたら、やはり国道を挟んで南側、駿河区から葵区に出てくる、その国道を超えるということを、親が非常に心配だから反対が起きるというようなことを言っていました。新通小は大きな学校で、校舎も余っちゃいますよね。あれはもったいないなと思いますよね。かといって、親の言うことばかり聞いていたって、平等な教育なんてできないんじゃないかと思っちゃいましたけどね。

あと、賤機中小学校。あそこは地産地消ということで、この間の総合教育会議の時と同じ話になってしまうけど、用宗のシラス漁

と、大阪のシラス漁の差をやっていました。ただその言葉に関する感性を、先生がもっと磨いたほうがいいなど痛切に感じました。大阪の漁は炎天下で野ざらしにシラスを置いておく、という文章が書いてありました。炎天下にシラスなんて置かない。そういう炎天下という言葉の意味とか、感性、感情とかっていうこと。感性が無いんじゃないかと思っちゃいますよね。それは先生を非難するものではないんですけど。そういうことを気を付けないといけませんねということ強く思いました。

杉山委員

私のほうからも報告させていただきます。

11月30日に城内中学校へ行ってまいりました。橋本委員と二人で参加しました。葵小の6年2組、伝馬町小の6年2組と、城内中学校は一年生ということで、3クラスの子どもたちが学校によってそれぞれ違うなと思いました。伝馬町小学校の子たちはすごく元気がよくてですね、びっくりしちゃうくらい。葵小の子たちは少し大人かなという印象を持ちました。それは先生の個性もだいぶあるんだろうなとは思いますが、教育現場によって、子どもたちがここまで変わってくるんだなということを感じた次第でございます。音楽の授業を小中合同でやりましたが、小学校の先生と中学校の先生が三人で、授業を見事に組み立てて、一時間の授業をやってましたね。その中で、中学校一年生のお兄さんお姉さんたちが、小学校の子どもたちの面倒を見ながら授業をやっていたことが、大変微笑ましく、また一年でこんなに変わるのかなという姿を見させていただきました。それと同時にですね、ピアノも指揮も全部中学校一年生が自分たちでやって、授業を行っていたというのが、とても素晴らしいなと感じました。

続いて、12月11日にですね、賤機中小学校に行きました。松村委員と一緒にいったわけですが、シラス漁の授業でした。この前にも授業を行っていて、僕たちはその後の授業を見学したので、その前がちょっとよく分からなかったのですが、やはり15人というクラスのメンバーで、すごく和気あいあいとやっておりましたし、もうストーブも用意してあってですね、この辺りから山の学校だなあと感じたりしましたね。その後、六年生の英語の授業を見させていただきましたけど、英語でもう授業をやっている、すごいなあと感心しました。これがどの学校でも行われていると思うと、私は本当に、学生時代に何もやってこなかったなあといいながら帰ってまいりました。

あと、12月9日の移動教育委員会に参加させていただきましたが、やはり学校・家庭・地域の役割が非常に重要だなあといいことを、コーディネーターの方々も感じていたことがすごく印象的でありましたが、その中で横浜市の講師の方に講演していただい

て、教頭先生が7年一緒の学校にいて、家庭や地域の方たちとの接点になって学校を盛り上げているというお話がありました。これはやはり、我々はもう少し見習うところがあるんじゃないかなあと思ったところでございます。それと、終わった後ですが、コーディネーターから、ねえねえ杉山さん、と話をされました。非常に忙しくて、自分がまた仲間を募ってですね、コーディネーターなり、次の方をお願いするとなると、どうしてもその苦勞を考えると、なかなか仲間に誘えない、お願いできない。これがまた悪循環になってきてしまうような気がするよというご意見をいただきました。ちょうどいい機会ですので、ご紹介させていただきます。

伊藤委員

私は、まず11月21日に竜爪中学校に行つてまいりました。竜爪中学はおそらく、静岡市立の中学としては比較的校舎が新しいほうだと思うのですが、校舎がモダンで、やや緩やかにカーブした造りになっております。そのカーブのところが、広場のようなスペースになっておまして、非常にゆったりした建て方の校舎で、とても学校がきれいでしたし、学校自体の雰囲気が、ゆったりと落ち着いた雰囲気でした。中学に視察に伺うことは、これまでの教育委員の経歴の中でもあまり多くないものですから、中学に行くと、また小学校とは全然雰囲気が違って、賑やかというよりは、本当に一生懸命勉強しているという、勉学の雰囲気を味わうことができ、竜爪中学も決して荒れたり、動いてしまう生徒さんがいらっしゃるわけでもなく、本当に皆さん落ち着いて授業を一生懸命やっぴらっしゃる姿が印象的でした。学校視察ということではないのかもしれませんが、校長先生とお話をする時間がございました。その中で、やはり部活動、特に野球部の話が少しございました。それは、いま希望される子どもさんの数が減っていて、ひとつの学校では1チームが構成できずに、隣の学校との合同チームになって練習していると。ところが、4月になって新入生が入ったら、その新入生の中に野球部を希望する子どもさんがいるのはいいことなんですが、入ってくださったので人数が足りてしまって、4月以降は練習が分かれてしまった。そうすると、野球ですから非常に連携プレーとかチームの状況が大事なんですけど、4月以降は新たな守備や連携での練習になり非常に大変だし、7月には中体連の大会となると、チームづくりをする時間がないんだと思います。規則通りだとそうになってしまうのだけれど、せっきく一緒に共同で練習して頑張ってきた子どもたちが、途中で分かれてしまうのはいかなものかというご意見がありました。それは本当に、おっしゃるとおりだなと思いました。いま部活動のお話を、いろいろと検討して苦勞いただいて

いるところだと思いますが、教員の多忙化解消等々だけの話ではなくて、ぜひそういうチームづくり、これから子どもさんたちの数が少なくなる中で、どういうふうにやっていったらよいかというところまでも、中体連の方々との協議をするなどして、主役は子どもなので、一生懸命練習したことが無駄にならないような、仲間づくりも含めてやっていただけるといいんじゃないかなと感じました。

2つ目に、12月6日蒲原西小学校に行って参りました。先ほど橋本委員から詳しくお話していただいたので、付け加えになりますが、蒲原西小学校は地域柄もあるのか、とても地域との関係が密着というか、濃くなっていて、地域の方が非常にサポートしてくださっていることがよくわかりました。ですから、コミュニティ・スクールになっているんじゃないかしらと、正直感じてしまいました。組織としてコミュニティ・スクールという名前にはまだなっていないかもしれないけど、やっていらっしゃる活動を考えると、コミュニティ・スクールと同じようなことをしてくださっているのではないかというふうに思いました。もちろん地域が一体になっているので、小小連携とか、小中連携がかなり進んでいるということでした。ですから今後、静岡型小中一貫教育、あるいはそこから発展するコミュニティ・スクールということを私たちは考えているんですが、もうできているところは早めに、ぜひコミュニティ・スクール化をしていただければありがたいし、平成34年からではなく、もうどんどん小中一貫を進めていただけるといいなと感じました。十分にその素地がある地域だと感じました。

3つ目が、12月19日の移動教育委員会です。先ほど杉山委員からお話がありましたので、また付け加えになりますが、横浜からいらしていただいた講師の方のお話が大変実践的で参考になりました。私たち教育委員とひとつなぎコーディネーター養成講座の方々だけで聞くにはもったいないような、いいお話でした。個人的には、学校教育課の方々とか、現場の先生方に聞いていただいたほうがいいようなお話でした。ですから、今年度は無理だとすれば、来年度にぜひまた改めて、別の方々を対象に講師の方にお話ししていただけるといいなと思いました。

“学校・地域 ひとつなぎ” コーディネーター養成講座ということで、皆さん本当にやる気にあふれた方々がたくさんいらっしゃいました。その中で、学校応援団のコーディネーターの方もいらっしゃいまして、ご意見としては、学校応援団は学校応援団として非常に普及してきているし、活発にやっではいるけれども、ある程度人員の固定化というのでしょうか、協力してくださる保護者は協力してくださるだけけれど、なかなか更に広がっていくと

というのが難しい。もちろん段々人材を変えていかななくてはならないことも含めて、もっともっと広がりがあるといいというお話をさせていただきました。そういう仕事をするには、コーディネーターが忙しすぎてなかなか手が回らないということもあったので、もっともっとコーディネーター役の人が必要であるというご意見がありましたことをご紹介させていただきます。

池谷教育長

ありがとうございました。

私のほうからは学校視察に関しては、皆さんに言っていたご意見と同じですが、各学校に頑張ってもらっていて、それぞれに特色があつていいなと感じておりました。それと、ここに記載はないんですけども、小島のこども園の研究発表に行っていました。年長さんになりますとそれなりに、自分で最上級の学年という意識を持って、地域での発表に向けて努力していました。またその子どもたちをですね、こども園でそれぞれの個性に応じた特性を見ながら教えてきていることを、やはりうまく小学校のほうで繋いで欲しいという声がありました。そこに見えられた学校の先生方も、やはりそこは繋いでいかなければいけないという感覚を持たれていました。このあたりを大事にしていきたいなと思います。

また、音楽学習学習交流会ですけれども、日本独自の文化ですね。合唱コンクールに向けて頑張っている姿というのは非常にいいなと感じたところです。また、“学校・地域 ひとつなぎ”コーディネーター養成講座については、やはり活躍の場、今回 20 人の方が講座を終えましたけれど、その後活躍していただく場をしっかりと作っていかなくてはと思います。

簡単ですが、以上です。

続いて、12 月 14 日まで行われた市議会 11 月定例会の本会議及び常任委員会での質問・答弁についてです。委員の皆様には前もって資料をご覧いただいておりますが、御質問や御意見等があればお願いいたします。

各 委 員

質問・意見なし

(4) 報告

池谷教育長

それでは、議事に入ります。

お手元の資料、会議の流れをごらんください。

本日は、報告が 1 件、その他の案件が 1 件あります。いずれも公

開案件です。

＜報告第14号 静岡型小中一貫教育カリキュラム【解説】の策定について＞

学校教育課長 資料に基づき説明

池谷教育長 ただいまの件につきまして、御意見、御質問等ありましたらお願いいたします。

伊藤委員 今ご説明いただいたところとして、58ページ教育委員会による評価及び検証改善というところで、何回かここは事務局の変更と私たち教育委員からのコメントということでやりとりをさせていただきました。最終的には基本的考え方とかたちでの締め方になったんだろうと思います。実はこのところは、私たちの中では十分に議論ができていないというか、内容の咀嚼が十分にできていなかったのもので、ぜひ今後、少し細かく考えていかななくてはならないのかなと、今考えております。

特に、私自身この問題を考えるときに思ったこととしては、今回のこの静岡型小中一貫というのが、グループ校に教育の中身をある程度委ねるといふか、グループ校の中で地域に根差して、地域の子どもを地域で育てるといふようなかたちにするというのが、非常に大きな特色であると考えております。どの地域にいても均等・均一な教育が受けられるという今までのやり方からすると、非常に地域性あふれる静岡市の教育になるのだと思います。そういうふうには、教育のかたちが少し変わってきているので、教育委員会としての在り方も、ある程度変わるべきところがあるんだろうと思います。一方で地域で独自のところを目指してくださいと言っておきながら、一律的な指標のようなもので地域の学校のやっていたらしゃることを判断してしまうと、一方でアクセルを踏みながら、もう片方でブレーキを踏むというようなことにもなりかねないのかなと感じました。ですからそういう意味で、今までは学校評価も含めて、教育委員会のいろいろな施策の評価を、本当にある意味一律に評価をしていたと思うのですが、静岡型小中一貫教育に関しては、教育委員会としての評価というか、検証改善の方法もよく考えておかないといけないなと思いました。ですからそのところは、ぜひ今年度内にもう少し議論ができたならと思います。

池谷教育長 今の伊藤委員からのご意見について、いかがでしょうか。

学校教育課長 御意見ありがとうございました。
教育委員会による評価の部分、さらには教育委員会の点検・評価にもつながることでもあると思うんですが、このことについてはですね、来年の3月を目指して、学校評価システムの手引きの改訂作業を進めておるわけですが、それをまたご協議いただく中で、その詳細を詰めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

池谷教育長 はい、この中では方向性ということで、来年の3月に向けて、評価について検討していくということでよろしく願いいたします。

池谷教育長 その他よろしいでしょうか。

各 委 員 質問・意見なし

池谷教育長 それでは、この件については、以上といたします。

(5) その他

<その他① 静岡市指定文化財の解除について>

文化財課長 資料に基づき説明

池谷教育長 ただいまの件につきまして、ご意見、御質問等ありましたらお願いいたします。

各 委 員 質問・意見なし

池谷教育長 それでは、この件については以上といたします。

(6) 閉会

池谷教育長 以上で、平成29年12月教育委員会定例会を閉会します。

午後2時02分